

外国語科学習指導案

三原市立久井中学校
教諭 川成 由佳
ALT Sofara Aiono

- 1 日 時 平成 26 年 7 月 10 日 (木) 第 4 校時
- 2 場 所 英語教室
- 3 学年・学級 第 2 学年 A 組 (男子 13 名, 女子 19 名)
- 4 単 元 LESSON 4 Enjoy Sushi
NEW CROWN ENGLISH SERIES 2 (三省堂)

5 単元について

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領の (1) 言語活動の エ 書くこと「(エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。」(3) 言語材料の エ 文法事項「イ 文構造」「(c) [主語+動詞+目的語] のうち、(a)主語+動詞+動名詞」「(f)その他 (a) There +be 動詞+～」を受けて設定している。

本単元で取り扱う一般動詞 like を用いた文構造は、小学校第 5 学年時に「LESSON 5 What do you like?」という単元(『Hi, friends! 1』文部科学省)で既習済みであるため、比較的理解しやすいと考えられる。ただし、小学校で学習した「主語+動詞+名詞」と、本単元で扱う「主語+動詞+動名詞」との違いに気付かせて、正しく英文を書くことができるように注意させる必要がある。

また、There is (are)~構文や like を用いた「主語+動詞+動名詞」の文構造を学習することで、物の位置や自分の好きなことを相手に伝えるなどのコミュニケーションのスキルをつけることができる単元である。

単元末には、私たちの街について調べ、「～に・・・があります」や動名詞を用いて 5 文以上の英文で海外からの観光客に街の名所を紹介するパンフレットを作成し、プレゼンテーションをすることで生徒に発表する力を身に付けさせることができる。また、与えられたテーマについて、語と語のつながりに注意しながら、ある程度まとまりのある文章を書かせることができる単元である。

(2) 生徒観

コミュニケーションへの関心・意欲が高く、ALT に話しかける生徒もいるが、英語に対する自信のなさや恥ずかしさから、英語を話したり、書いたりすることに対して、苦手意識をもっている生徒も少なくない。

標準学力調査では全国平均正答率 60.4%、市町村平均正答率 68.3%に対して、校内平均正答率は 71.4%であった。校内での第 1 学期の中間試験の平均点は 67.0 点で、正答率が 50%未満の生徒は 6 名いる。

本校は平成 23 年度から「全校生徒、宿題提出 100%」を推進してきた。毎日、久井中ノート、漢字ノート、英語ノート、自主学习ノートの 4 つを提出する取組を行っている。本学級の朝の提出率は 97%であり、下校時までには 100%にしている。

書くことについては、豊富な語彙と既習の言語材料を用いながら、身近な出来事や体験したことなどについて、自分の意見や考えを正しく書くことができる生徒がいる反面、語彙や文構造が十分に身

についていないことから、正しく書くことができない生徒もいる。また、話すことについては、長文の英問英答に対する適切な答え方が十分に身に付いている生徒や、的確な英語を用いて適切な声量や明瞭さで聞き手に正しく伝えることができる生徒は全体の半数程度である。

※「努力を要する」状況と判断した生徒 A は、語彙や文構造が十分に身に付いておらず、英語に対する自信のなさなどから、音読や発表の声も小さく一つ一つの課題に対して消極的な姿勢が見られる。生徒 B は、英語に対する意欲はあるものの、文構造を理解することや英語を読むこと、英文を正しく書く力が身に付いていない。

(3) 指導観

本単元で扱う一般動詞 like 等を用いた「主語＋動詞＋動名詞」の文構造は、小学校第 5 学年時に「LESSON 5 What do you like?」という単元（『Hi, friends! 1』文部科学省）や中学校第 1 学年時に「LESSON 3 I Like *Kendama*」という単元で学習した「主語＋動詞＋名詞」と、小学校からの外国語活動で外国語の音声やリズムなどに慣れ親しんでいる。音声から内容を理解する力を身に付けている生徒が多いため、視覚教材を利用し、多くの口頭練習を取り入れる。また、ドリル等を利用して、繰り返し学習することで、語彙や文構造のより確実な定着を図る。

また、本単元で用いられている一般動詞 like 等を用いた「主語＋動詞＋動名詞」の文構造を使って、コミュニケーションを図れるような場の設定をする。

学習環境においては、座席の配置を工夫し意図的なペア・グループを作ることにより、生徒が授業により集中することができ、疑問に感じたことを気軽に聞くことで理解を深めることができると考える。

単元末には、私たちの街について調べ、「～に・・・があります」や動名詞を用いて 5 文以上の英文で海外からの観光客に街の名所を紹介するパンフレットを作成し、プレゼンテーションすることで生徒に発表する力を身に付けさせたい。またこの活動を通して、久井・八幡地域についての理解を深め、地域を尊重できる態度を育成したい。

※「努力を要する」状況と判断した生徒 A への手立ては、視覚教材を用いることで集中を促す。表現したい内容を英語にする時には、表現できている箇所とそうでない箇所を明確にし、解決の為のヒントを与え支援する。また課題が解決できた時には大いに褒め、自信をもたせる。生徒 B は、表現したいという意欲が強いため、辞書指導や既習事項と関連付けて指導するなど、なるべく自己解決できるような支援をする。また、生徒 B にとっては効果的なペア・グループ学習での教え合いを通して、理解を確かなものとする。

6 単元の目標

- (1) 私たちの街について調べ、「～に・・・があります」や動名詞を用いて 5 文以上の英文で海外からの観光客に街の名所を紹介する。
(イ 外国語表現の能力)
- (2) ペア、またはグループで積極的にコミュニケーションを図る。
発表において、恐れず話している。
(ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (3) **There is (are)～**や一般動詞 like 等を用いた「主語＋動詞＋動名詞」の形・意味・用法を理解している。
与えられたテーマについて、語と語のつながりに注意しながら、ある程度まとまりのある文章を書いている。
(エ 言語や文化についての知識・理解)

7 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
① ペア, またはグループで積極的にコミュニケーションを図っている。 ② 発表において, 恐れずに話している。	① 私たちの街について調べ, 「～に・・・があります」や動名詞を用いて5文以上の英文で海外からの観光客に街の名所を紹介する。 ② 与えられたテーマについて, 語と語のつながりに注意しながら, ある程度まとまりのある文章を書いている。	/	① There is (are) ～ や一般動詞 like 等を用いた「主語+動詞+動名詞」の形・意味・用法を理解している。

8 指導と評価の計画

(全9時間)

次	学習内容 (時数)	評 価					
		関	表	理	知	評 価 規 準	評価方法
1	・ There is (are) ～ の形, 意味, 用法を理解する。 (2)				◎	・ There is (are) ～ の形, 意味, 用法を理解している。エ①	ワークシート
2	・ There is (are) ～ を用いて自己表現する。 (2)		◎			・ 自分の部屋を紹介する英文を正しく書くことができる。 イ②	ワークシート
3	・ 健とブラウン先生の会話の内容を読み取る。 (1)	◎				・ ペア, またはグループで積極的にコミュニケーションを図っている。ア①	行動観察

4	<ul style="list-style-type: none"> 一般動詞 like 等を用いた「主語＋動詞＋動名詞」の形, 意味, 用法を理解する。 (2) 	○		◎	<ul style="list-style-type: none"> 一般動詞 like 等を用いた「主語＋動詞＋動名詞」の形, 意味, 用法を理解している。エ① ペア, またはグループで積極的にコミュニケーションを図っている。ア① 	ワークシート 行動観察
5	<ul style="list-style-type: none"> 一般動詞 like 等を用いて自己表現する。 <本時>(1) 		◎		<ul style="list-style-type: none"> 動名詞を使って自分が好きなことについて紹介する英文を, 3文以上で書くことができています。イ② 	ワークシート
6	<ul style="list-style-type: none"> 久美とブラウン先生の会話を読み取る。 (1) 	◎			<ul style="list-style-type: none"> ペア, またはグループで積極的にコミュニケーションを図っている。ア① 	行動観察
7	<ul style="list-style-type: none"> エマが写真にそえた感想文を読み取る。 (1) 	◎			<ul style="list-style-type: none"> ペア, またはグループで積極的にコミュニケーションを図っている。ア① 	行動観察
8	<ul style="list-style-type: none"> There is (are) ～や一般動詞 like を用いた「主語＋動詞＋動名詞」を用いて, 自分の地域について書く。 (3) 		◎		<ul style="list-style-type: none"> There is (are) ～や一般動詞 like を用いた「主語＋動詞＋動名詞」を用いて, 海外からの観光客に街の名所を紹介する簡単な英文が書くことができています。イ② 	ワークシート
9	<ul style="list-style-type: none"> 自分の地域について正しく話す。 (2) 	○	◎		<ul style="list-style-type: none"> There is (are) ～や一般動詞 like を用いた「主語＋動詞＋動名詞」を用いて, 自分の地域について正しく話すことができています。イ① 発表において恐れず話している。ア② 	発表

9 本時の目標

(1) 動名詞を使って、自分が好きなことについて紹介する英文を3文以上書くことができる。(イ②)

10 本時の学習指導 (5/9時間)

過程	指導内容	指導形態	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準 評価方法
導入	Greeting	一斉	・教師と英語で挨拶をする。	・明るく働きかける。	
展開	Review	一斉	・簡単な復習をする。	◆ P P を使用し、音声だけでなく視覚支援を行うことで理解しやすくする。 ◆ ALT に聞き返し, ing を強調する。	
	Teachers' Model for the writing	一斉	・“Who am I?”ゲームで前時の文法を確認する。	・「好きなこと」等について事前に先生方にインタビューした内容を、前時に学習した「主語+動詞+動名詞」を用いた英文で順にスクリーンに提示する。 ・クイズ形式で、校内のどの先生のことを表す英文なのか考えさせる。	
	Today's Goal	個別	・学習ガイドを見ながら、本時の学習目標を確認		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> like+~ing を使って、自分が好きなことについて紹介する英文を3文以上書こう。 </div>					
	Activity1	一斉	・教師による Activity の評価についての説明を聞く。	◆ P P を使用し、音声だけでなく視覚支援を行うことで理解しやすくする。	一般動詞 like 等を用いた「主語+動詞+動名詞」を用いて、自分が好きなことについて紹介
		個別	・動名詞を用いて、自分が好きなことについて紹介	◆ 少しでも書くことができれば大いに褒めることで、自信を	

【単元】 Lesson 4 Enjoy Sushi

Thursday, July 10th

【本時の目標】 自分が好きなことについて紹介する英文を正しく書こう。

Sofara 先生の 3 文

川成の 3 文